

ビスフォスフォネート系薬剤を服用されている患者さまへ

あなたはビスフォスフォネートと呼ばれる種類のお薬を服用されていますので、その副作用として顎骨^{がっこつ}壊死^{えし}や骨髄炎を発症する可能性があります。この二つの副作用は、歯科治療によってその危険性が增大する可能性があります。抜歯、歯周外科手術およびインプラント手術など顎の骨の外科処置が危険です。ただし、この病気を発症する確率は大きくはありません。

顎骨壊死とはどんなものですか？

骨は、一見、硬く石のように見えますが、細胞とその細胞への血液供給からなる生きた組織です。骨壊死とは血液の流れが不足するために、骨が死んでしまうことを意味しており、骨の再生能力が乏しくなることによって起きると考えられています（骨の硬化）。非常に稀ですが、骨粗鬆症の治療や腫瘍の治療のためビスフォスフォネート系薬剤を経口摂取または静脈注射している方に顎骨の壊死が発症しています。骨に関わる歯科治療や歯科疾患などで、その状況がより悪くなる可能性があります。

ビスフォスフォネート剤の経口服用をやめるべきですか？

腫瘍の骨転移を抑制するこの薬の利点は、重要である可能性があります。骨粗鬆症は致命的な病気ではありませんが、それに関連した大腿骨骨折の危険性を減らすという利点はあります。ビスフォスフォネート系薬剤を処方された主治医にご相談ください。

歯科治療に伴う危険性にはどんなものがありますか？

どのような処置の場合でも危険性は基本的には低いのですが、抜歯のほか、顎の骨を取り扱う歯科処置において比較的危険性が高くなることが分かっています。お口のなかを清潔に保つことが、お口の病気を予防する最良の方法です。

顎骨壊死が発症する危険性は非常に小さいものです。このため、痛みや重篤な炎症状態を放置することによる健康上の問題が大きい場合には、両方の危険を理解した上で、歯科治療を選択するか否かをお考えいただくべきです。

顎骨壊死の徴候と症状はどのようなものですか？

- ・ 顎の痛み
- ・ 顎のしびれ感、重い感じ、その他の異常感覚
- ・ 顎の腫脹（腫れ）
- ・ 歯がグラグラする
- ・ 膿（うみ）が出る
- ・ 歯肉から骨が顔を出している（黄色みをおびて、硬い）

抜歯等の外科処置を希望の場合

顎骨壊死になった場合、治療に関しては口腔外科専門医で行う必要があります。回復の時期については明言できません。以上を十分に理解した上、抜歯等の外科処置を希望される場合は、以下に署名をお願いします。

年 月 日 担当歯科医師：

年 月 日 自 著：
